

2026 年 6 月 30 日

各位

株式会社ドリーム・アーツ



**アース製薬、SmartDB 導入で“デジタルの民主化”を推進
～全社員が活用する基盤で、現場主導の業務改革を加速～**

大企業向けクラウドサービスの株式会社ドリーム・アーツ（東京本社：東京都渋谷区、広島本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 孝昭、以下 ドリーム・アーツ）は、アース製薬株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：川端 克宜、以下 アース製薬）が、大企業向け業務デジタル化クラウド「**SmartDB®**（スマートデービー）」を導入し、2026 年 4 月より業務基盤として本格運用を開始したことをお知らせします。

同社は、業務部門自らデジタル化を担う「デジタルの民主化^(※1)」を推進。この取り組みを通じて、全社的な DX を加速し企業競争力の強化を図ります。

※1 デジタルの民主化とは DX 内製化が経営課題となるなか、業務部門が DX による課題解決と価値創出に主体的に取り組み、その改善と価値の増幅を自律的かつ継続的に主導する状態を指します。

詳細はこちら：<https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/democratization/>



執行役員 経営統括本部 情報システム部 部長 梶 晃 氏（右）
経営統括本部 情報システム部 システム開発室 本社システム課 戸高 亮 氏（左）

■SmartDB 導入の背景：「デジタルの民主化」を実現する全社基盤への転換

アース製菓は、「デジタルを経営の駆動力とし、変化を的確に捉え、人々の豊かな暮らしと持続可能な地球の未来を共創するリーディングカンパニー」となることを DX ビジョンに掲げています。この DX ビジョンのもと、データドリブン経営の加速と顧客接点のデジタル化を軸に DX に取り組むとともに、それらを支えるデジタル人財の育成にも注力しています。

同社は変化の激しいビジネス環境やデジタル・AI 技術の進展に対応するため、情報システム部門の統制を維持しながら、業務部門が自らデジタルを活用し業務改善を進める「デジタルの民主化」の実現が必要と判断しました。一方で、既存システムは柔軟な対応にあたり個別開発を前提としており、業務部門自らが仕組みを構築することは容易ではありませんでした。また、情報システム部門では保守・運用業務に加え、各部門からの多様なデジタル化ニーズへの対応が集中し、結果として統制を保ちながら現場に開発を広げることができない状況にありました。さらに運用面での課題として、メール中心としたやりとりにより情報や進捗が担当者や部門ごとに分散し、業務プロセス全体を把握しづらい状況でした。

こうした課題を解決し、全社の「デジタルの民主化」推進の基盤の一つとして、**SmartDB®**の導入を決定しました。

■SmartDB の選定理由：業務部門主体の開発と全社統制を両立

製品選定においては、以下の点が特に高く評価されました。

- **ノーコードによる業務アプリ開発**
IT に詳しくない業務の担当者でもノーコードで業務アプリの開発ができ、業務部門による主体的な課題解決が実現できる。
- **大企業向けの強固なセキュリティ機能とガバナンスの実現**
きめ細やかな権限制御により、情報のアクセス範囲を適切に管理しガバナンスを確保可能。また、情報システム部門が全体統制を維持しながら運用できる。
- **デジタル人財の育成および定着支援体制への高評価**
導入・活用支援に加え、ユーザー企業同士の知見共有コミュニティを活用することで、自走的な活用促進が可能である。
- **豊富な標準機能**
ノーコードでありながら、大企業の複雑な業務要件に対応できる標準機能を備えている。

■SmartDB 導入の成果：「デジタルの民主化」が現場へ拡大

SmartDB®の導入後は、業務部門と情報システム部門の双方で成果が生まれています。業務部門第一号の事例は、IT に詳しくない担当者が約 1 週間で申請アプリの構築をおこないました。現場主導の開発が進み、短期間で試作と改善を繰り返す開発サイクルが定着しつつあります。情報システム部門においても、ノーコード基盤の活用によって専門的な開発経験に依存せず構築が可能となり、開発効率が向上し全社展開を当初計画より 1 ヶ月前倒しで実現しました。

また、業務プロセスの改善も進み、ソフトウェア購入業務では、従来メールでおこなわれていた見積依頼から導入までのプロセスを単一のワークフローに統合。これにより、部門や担当者ごとに分散していた情報や進捗状況を一元管理できるようになり、意思決定の迅速化につながっています。

■今後の展望：全社での活用拡大と定着、AI 活用による高度化

アース製薬では今後「デジタルの民主化」の実現を目指すとともに、業務部門による開発体制の拡大と定着を進めていきます。さらに、ドリーム・アーツのユーザーコミュニティを通じて他社の知見を積極的に活用していきます。また、「SmartDB Practical AI (PA) オプション^(※2)」の活用も視野に入れ、業務の効率化と意思決定の迅速化を進めることで、全社的な DX のさらなる推進と業績の向上を図ります。

※2 SmartDB Practical AI (PA) オプション：<https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/function/ai/>

■アース製薬株式会社 執行役員 経営統括本部 情報システム部 部長 梶 晃 氏からのコメント

ドリーム・アーツが提唱する「デジタルの民主化」に強く共感しています。これまで当社では DX に取り組んできましたが、今後さらに業務改革を進めるためには、現場で働く一人ひとりが主体的にデジタルを活用し、自ら課題を解決していくことが重要だと考えています。

現在は SmartDB®の全社展開が完了し、業務部門による主体的な開発が各部門へ広がりつつあります。これからは、活用の定着に向けて現場でのアプリ開発を支える体制の確立とデジタル人材育成をさらに強化し、自律的に改善が進む組織を目指していきます。

また、SmartDB Practical AI (PA) オプションの活用も視野に入れ、取り組みを一層前進させ、企業としての目標達成につなげていきたいと考えています。

ドリーム・アーツは、今後も“協創”を理念に掲げ、「現場力強化」「企業競争力向上」に役立つトータルソリューションを提供してまいります。

■当社連結業績への影響

本件による連結業績に与える影響は軽微であります。今後、業績予想を変更すべき事象が生じた場合は速やかに発表させていただきます。



SmartDB®（スマートデービー）について <https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/>

SmartDB®は、大企業市場シェア No.1^(※3)の業務デジタル化クラウドです。現場個別の業務から全社横断業務までノーコードで開発可能。ワークフローとWebデータベースを中心に多彩な機能を持ち、柔軟な外部システム連携、きめ細かな権限管理、高度なセキュリティ要件にも対応しています。三菱UFJ銀行やKDDI、ツルハホールディングス、筑波大学など、大企業を中心にあらゆる業種業態のユーザーが利用中です。サービス基盤としてマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を採用し、利用規模の変化やコンテンツの増加にも柔軟に対応できる環境を実現しています。

※3 テクノ・システム・リサーチ「2025年 SaaS型ワークフロー市場メーカーシェア調査」より

株式会社ドリーム・アーツについて <https://www.dreamarts.co.jp/>

「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに掲げるドリーム・アーツは、「協創」を自ら体現することで、顧客の真のソリューションパートナーとして総合的な課題解決をお手伝いしています。

主なサービスとして、大企業向け業務デジタル化クラウド「**SmartDB®**」、多店舗オペレーション改革を支援する「**Shop らん®**（ショップラン）」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「**InsuiteX®**（インスイートエックス）」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ドリーム・アーツ 広報担当 金井、岡

〒150-6029 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー29F

TEL：03-5475-2501 / 090-9149-3958 E-mail：pr@dreamarts.co.jp

記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

©DreamArts Corporation.